

サッカーの指導現場における暴力根絶に向けての指針/骨子(案)

公益財団法人日本サッカー協会
技術委員会

日本サッカーが国際舞台で活躍するようになった今、サッカーに対する注目度はますます高まり、それに伴ってサッカーが果たす役割や社会的影響力も大きくなっています。選手の育成に携わる指導者の役割も重要になっており、指導者の皆さんにとっては責任も重く、同時にやり甲斐も大きなものになっているでしょう。

スポーツの本質は楽しむことです。だれもが目的やレベルに合わせてスポーツに親しむことで、達成感や充実感、生きがいを楽しめます。また、プレーヤーがフェアにひたむきに戦う姿は、観る物に勇気と希望、生きる活力を与えてくれます。

未来を担う子どもたちや選手を育てる指導者は、日本のスポーツ発展の一翼を担っています。プレーヤーがサッカーを楽しみながらレベルアップしていくこと、彼らの向上心を高め、挑戦する姿勢を後押しすることが指導者に課せられた重要な使命なのです。失敗を恐れない、たくましい選手を育てるためには、時として厳しい指導も必要です。それ自体を否定するものではありませんが、その中に暴力的な指導や体罰は含まれません。我々が常に掲げてきた「Players First!」、そして「リスペクト」の精神をあらゆる取り組みの基盤とし、これからも一層徹底していきます。サッカーの指導環境の改善に務め、その努力を惜しみません。そして、登録チームのすべての指導現場での暴力、暴力を用いた指導を「しない、させない、許さない」ことを宣言し、サッカー、そしてスポーツの持つ価値を高める努力を続けていくことを誓います。

これは単にプレーヤーを守るだけの立場に立って指導者にプレッシャーをかけようというものではありません。指導者の皆さんを今まで以上にリスペクトし、支援することで、サッカーを取り巻く環境を真の達成感と笑顔のあふれる豊かなものにしていきたいと考えています。

方 針 : サッカーの指導現場において、今後一切の暴力を根絶する

◆具体的な取組み

1. 登録指導者に対し、サッカーの指導現場において、今後一切の暴力を根絶するという意志の確認
既ライセンス取得者全員に対し、あらためて指導現場における暴力根絶の意思確認をする。
2. サッカーの指導現場の環境改善
 - ① 指導者の指導力アップ
指導者のあり方、価値観に関するメッセージ発信の強化、フィロソフィーの徹底。
指導者としての勉強をより徹底させ、選手の発育・発達に応じた適切な指導、内発的動機づけに基づく指導の実践につなげる。
 - ② 指導を受ける環境の改善
 - a) 登録チームのすべての指導現場においてライセンス指導者配置の義務化検討
 - b) 登録チームのすべての指導現場において適正人数による指導の義務化検討
 ※実現に向けては、各種連盟との連携をとって進める

3. 指導者登録規程の確認

登録の抹消、資格取り消しを原則とし、各ケースに応じて対応する。

<JFA 公認指導者登録制度>

13. 資格の失効、

以下の場合、登録が抹消され資格が取り消される。

- (1) 公認指導者としてふさわしくない行為があったと認められたとき

4. その他

- ① ライセンス指導者以外の一般に向けたメッセージ発信(リスペクトキャンペーンの活用)
- ② 暴力根絶に向けたキャンペーンの実施検討
- ③ Child Protection Policy 導入の検討
(子どもの安全確保指針。特にスポーツの場における安全確保に関して導入に向けての準備)
- ④ 対応セクション/部会設置の検討

◆基本姿勢

これらの具体的な取り組みによって登録者が一時的に減ることも考えられるが、理想を追求し指導環境を改善することが暴力根絶、ひいてはスポーツ指導の価値の向上、一人一人の選手がそれぞれに適したより良い指導を受けることにつながるものであると強く考えます。

JFA としてはそのための場の提供や支援、得られる価値の大きさについてのプロモーションの努力を惜しみません。関わる全ての皆さんと協力し、団結してより良い指導環境をつくっていきたいと考えます。

以上